

令和8年 労働者死傷病報告受理状況

平塚 労働基準監督署
(6月末現在)

業 種	当 年 (令和8年)	前 年 (令和7年)	増減数	増減率
01 食料品製造	12	3 (1)	9 - (1)	300.0%
02 繊維工業				-
03 衣服その他の繊維		3	-3	-100.0%
04 木材・木製品				-
05 家具・装備品		1	-1	-100.0%
06 パルプ等	1	1		
07 印刷・製本				-
08 化学工業	11	9	2	22.2%
09 窯業土石	2	3	-1	-33.3%
10 鉄鋼業		2	-2	-100.0%
11 非鉄金属				-
12 金属製品	3	3		
13 一般機械器具		1	-1	-100.0%
14 電気機械器具	4	3	1	33.3%
15 輸送機械製造	4	6	-2	-33.3%
16 電気・ガス	2		2	-
17 その他の製造	6	3	3	100.0%
01 製造業小計	45	38 (1)	7 - (1)	18.4%
02 鉱業小計				-
01 土木工事	6	11	-5	-45.5%
01 鉄骨・鉄筋家屋	2	7	-5	-71.4%
02 木造家屋建築		1	-1	-100.0%
03 建築設備工事				-
09 その他の建築工事	6		6	-
02 建築工事	8	8		
03 その他の建設	3	2	1	50.0%
03 建設業小計	17	21	-4	-19.0%
01 鉄道等	1		1	-
02 道路旅客	13	9	4	44.4%
03 道路貨物運送	29	23 (1)	6 - (1)	26.1%
04 その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	43	32 (1)	11 - (1)	34.4%
01 陸上貨物	4	7	-3	-42.9%
02 港湾運送業				-
05 貨物取扱小計	4	7	-3	-42.9%
01 農業	1	1		
02 林業	1		1	-
06 農林業小計	2	1	1	100.0%
01 畜産業		1	-1	-100.0%
02 水産業				-
07 畜産・水産業小計		1	-1	-100.0%
01 卸売業	6	7	-1	-14.3%
02 小売業	28	34	-6	-17.6%
03 理美容業				-
04 その他の商業	7	4	3	75.0%
08 商業	41	45	-4	-8.9%
01 金融業	1	1		
02 広告・あっせん				-
09 金融広告業	1	1		
10 映画・演劇業				-
11 通信業	9	9		
12 教育研究	2	1	1	100.0%
01 医療保健業	7	19	-12	-63.2%
02 社会福祉施設	25	24	1	4.2%
03 その他の保健衛生				-
13 保健衛生業	32	43	-11	-25.6%
01 旅館業		2	-2	-100.0%
02 飲食店	13	11	2	18.2%
03 その他の接客	10	4 (1)	6 - (1)	150.0%
14 接客娯楽	23	17 (1)	6 - (1)	35.3%
15 清掃・と畜	9	12	-3	-25.0%
16 官公署				-
01 派遣業				-
02 その他の事業	12	4	8	200.0%
17 その他の事業	12	4	8	200.0%
合 計	240	232 (3)	8 - (3)	3.4%
コロナを除いた合計	239	216 (3)	23 - (3)	10.6%

※ 各欄左側の数字は休業4日以上之死傷者数、右側 () 内は死亡者数(内数)